



株式会社 岩手銀行 塩釜支店

施工地／宮城県塩釜市旭町20番18号
 竣工年月／平成24年9月
 敷地面積／1,174.24㎡
 延床面積／618.95㎡
 構造／鉄骨造2階建

災害に強い施設造り

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、宮城県塩釜市では地震による家屋の損壊や、津波の襲来による海岸部での浸水など、甚大な被害が発生いたしました。岩手銀行塩釜支店様においても、地震の揺れに伴いガラスが割れ壁に亀裂が入り、押し寄せる波が店舗内まで浸入するなど、多大の被害を受けました。

平成24年11月に改築新店舗として生まれ変わり営業を開始いたしました。

新しい塩釜支店は東日本大震災による被害を教訓とし、あらかじめ災害による被害の発生を想定し、その被害を低減させる「減災」をコンセプトに計画いたしました。

具体的には津波による浸水対策として敷地を盛土にて約80cmの嵩上げし、北側の崖地崩壊受けのために腰高1.5mまで鉄筋コンクリートの基礎を立上げ、災害時における被害の最小化に取り組むとともに、29時間対応の非常用発電機の設置や、厨房設備へはプロパンガス方式の採用など非常時のエネルギー源を確保し地域の皆様への避難生活のお役立ち店舗となっております。

東日本大震災直後の被災状況



支店前の国道45号線



支店前の浸水状況



自動ドアガラスの破損

お客様に優しい施設

お客様の利便性と快適性の向上への配慮として、敷地内から受付窓口までは段差のない動線とし、お体の不自由な方にご利用いただく車椅子利用者用駐車スペース2台を店舗入口への最短位置に配置し、合計18台の駐車場を設けました。

また店舗内には多機能シートやベビーチェアを備える多目的トイレを配置し、快適にご利用いただけるよう誰にでも優しいユニバーサルデザインを実現しお客様に優しい店舗となることを目指して設計に取り組みました。



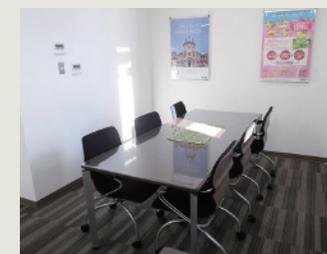
ATMコーナー



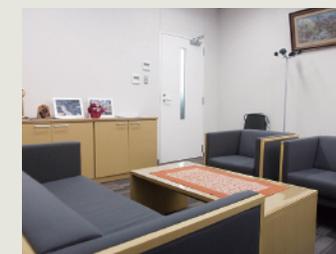
窓口ロビー



多目的トイレ



応接コーナー



応接室

配置図兼
平面図

